



Weekly Report



クラブ・テーマ 「これまでに感謝 これからを創造」 Share vision
— The 55th anniversary —

会 長 小林利郎 例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日 点鐘 12:30～13:30
幹 事 出山知宏 事務所：さいたま市岩槻区本町3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
<http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp> E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

小林利郎年度 第6回 通算2620例会

平成29年8月17日

会長挨拶

第55代会長 小林利郎

皆様こんにちは。

8月に入って雨の日が多く気温の差も激しいので皆様におかれましても体調をくずされません様お体ご自愛ください。そしてこの8月の例会スケジュールも3日の休会、先週と今日はお盆を挟んでの例会、3日後には岩槻まつり例会、月末の31日には早朝例会という事で、会員皆様にとって都合をつけにくいスケジュールなのかもしれませんが、ご理解頂ければと思います。



さて、来たる今月の30日には、地区によるRLIパートIが開催されます。当クラブからは田畑寛樹委員長が参加され、引き続き9月15日のパートIIにの参加される予定です。田畑委員長には、この研修の成果をクラブに於いても発揮して頂ければと思います。また後の報告を楽しみにしております。そして9月22日～24日には、日韓親善会議、中でも3750地区との姉妹地区締結30周年記念式典も合わせて開催されるということです。当クラブから原田晃博委員長が地区国際交流委員長として、田中芳明委員長が国際奉仕委員として出向活躍されております。この3750地区との姉妹締結には、当クラブからガバナーとして輩出された故金子雅英氏が尽力されたという、私たち岩槻ロータリークラブの現会員としても大変誇らしく輝かしい経緯があることを意識に刻み活動の励みにもなる事と思います。そしてもしも・・・もしもです。私自身もその一人だったかも知れませんが地区の運営・活動に対して誤解があるようでしたら、それを解いて行かなければなりません。その策と致しまして鈴木隆部門委員長からヒントを頂きました。今月より最低でも月に一回以上、出向役員より地区における近況報告に併せてこれを説いて頂ければと思います。本日早速、原田委員長にお願いをさせていただきますので、「地区＝外の事」と捉えられる事なく共有する意識をもって聴くことが出来ればと思います。また本日の例会も、前週に続いてのセミナー報告です。よろしくお願ひ致します。

挨拶文の行間

「Share vision」

自身の事情や考えかたは自身のものだし
人によって似ているところはあっても
一致していることは殆ど奇跡に等しいよね
だから真から何かをしてあげたい
何かをしてもらいたいという気持ちが一致するのは
ほんの一瞬で些細なことだからなのかもしれない
だからその一瞬に出会うことは奇跡なんだよ (続く)

でもその一瞬が些細なことで継続に変わる
些細が些細でなくなる
そう思うと嬉しくなるね
真を感じる瞬間だよ
そしてそのことをいつまでも大切に考えていたくなる
時には違いを知り それを認め合い 音で表現したら
それは心地よいハーモニーとしてひとには聴こえてくるね
その僅かな価値観の違いも尊重する優しい気持ちが必要なんだね…toshi

幹事報告

幹事 出山知宏

- ① 地区より 2016～2017 年度に開催された RYLA 研修の報告書が届いております。
- ② 地区より制定案（2019 年の規定審議会に審議される）の提出について、ご案内が届いております。
- ③ 地区よりロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）パートIIのご案内が届いております。
- ④ ロータリー米山記念奨学会より、財団設立 50 周年を記念したフォーラムと祝賀会のご案内が届いております。申し込みの期限が、9月30日となっております。詳細等は、記載のホームページアドレスへアクセスいただきご確認ください。
- ⑤ 国際ロータリー日本事務局財団室より、寄付・認証に関しての手引書が出来ましたのでご案内が来ております。印刷したものも添付しておりますが、日本事務局のホームページからもダウンロードできますのでご確認ください。
- ⑥ 大宮北東 RC より、7 月分の週報が届いております。



表彰

ロータリー財団より、ベネファクターになられた小林会長、ポールハリス・フェローになられた増岡会員に感謝状とバッジがそれぞれ授与されました。おめでとうございます。



委員会報告

地区国際交流委員会委員長 原田晃博

9月23日(土)韓国ソウルにおいて韓日親善会議が開催されます。岩槻RCより輩出した故金子雅英バスターが結んだ韓日ロータリーの友好事業ですので、なにとぞご参加頂きたいと思っております。



会報・広報委員会委員長 田畑寛樹

8/24(木)会報・広報委員会では春日部西RCの例会に伺い勉強して参ります。ご一緒に出席できる方は私(田畑)までご連絡下さい。



会長指名委員会委員長 鈴木 隆

8/21(月)午後6時より指名委員会を行います。理事会とメンバーが重複しておりますので、続けての開催となりますので宜しくお願い致します。



各部門セミナー報告

公共イメージ部門セミナー

会報・広報委員長 田畑寛樹

7/8(土)ソニックシティで開催されました「公共イメージ部門・会員増強維持部門」合同セミナーの報告を致します。



1. なぜ増強が必要なのか?

自テーブル

- ・運営の為(クラブの運営、対外事業等には数の力も必要。)
- ・自然退会があるので会員の増強が必要。
- ・ロータリーの未来の為、既存の会員から退会者を出さず、クラブ、会員の研鑽を務めたいという増強が必要。

他テーブル

- ・クラブ存続、活動をスムーズに行う為。(事業、奉仕活動の充実化。)
- ・マンネリ化を防ぐ。
- ・たくさんの仲間(職種)がいれば、活動の幅が広がる。

2. 女性会員を増やすには?

自テーブル

- ・会費(半額、無料等。賛助会員制度等。)
- ・クラブ、会員の研鑽に努め魅力的なクラブにする。
- ・地域のリーダー、他団体の仲間等からの紹介。
- ・女性にとって参加しやすい雰囲気作りが必要。

他テーブル

- ・女性会員になりそうな方々を複数でお誘いする。
- ・老若男女バランスのとれた組織作り。

3. 自クラブで(公共イメージ委員会と会員増強維持委員会)合同での増強の方針・企画(どんなことをやっていきたいか?)

自テーブル

- ・週報等で写真をたくさん使用し、目で見える活動のアピール。
- ・会員、未会員での共同のイベントで親睦をはかり、増強に結びつける。

他テーブル

- 下記事業、イベント等を共同で行う。
 - ・ロードサポート・募金・イベント(BBQ、カラオケ、ボーリング等)
 - ・児童図書贈呈・HP、SNSの活用・異業種交流会・地域メディアの活用
 - ・奉仕先を募集する。

最後になりますが、今年度から地区では漠然とした広報活動で

はなく、より具体的に、目的意識をはっきり持たせるために「広報委員会」から「公共イメージ向上委員会」と名称の変更があり、ロータリーのイメージの向上が求められております。

効果的な広報により既存会員のモチベーション向上、地域社会でのロータリーの存在感が高まる事によって会員の増強にも必ず結びつきます。

世界の平和、親善、理解。

地球の継続性、ロータリーの輝く未来の為に邁進敢行して参ります。

ロータリー財団部門セミナー

支援部門委員長 遠藤隆雄

7/15(土)大宮清水園にて開催されました。



・ロータリー財団とは

寄付を受け取り、ロータリークラブや地区の人道のおよび教育的活動でロータリー財団が承認したものに補助金を提供する非営利法人です。ロータリー財団の標語「世界で、良いことをしよう」

・ロータリー財団の寄付

年次寄付：寄付の基礎。寄付して3年後に地区の年次寄付総額の50%がDDFとして地区財団活動資金、残りの50%がWFとして国際財団活動資金に分けられます。恒久基金：元金は使わず、投資して得られた収益だけを使います。2025年までに10億ドルを目指しています。ポリオ・プラス寄付：ポリオ(小児麻痺)を世界から撲滅するための寄付です。現在ポリオ常在国はアフガニスタン・パキスタン・ナイジェリアだけになりました。

○資金推進委員会

財団プログラムを確実に継続的に行うための資金である年次寄付及び恒久基金を中心とした寄付を皆様に懇請する目的のほか、様々な寄付形式をロータリアンに情報を提供しクラブを支援します。

会員1人あたり200\$以上の寄付を目標としています。

○ポリオ・プラス委員会

会員1人あたり50ドルの寄付を地区目標としています。皆さんの御協力をお願いします。

クラブのイベント、奉仕活動の際に、広くポリオに対する理解を深めてもらえるよう努めてもらいたいと思います。

委員会ではポリオ根絶に向けたポスターを作成する予定とのことで、募金箱の設置やポスターの掲示をお願いします。

○補助金委員会

グローバル補助金

ロータリー重点分野のいずれかに該当し、持続可能な成果をもたらす規模の大きい長期の国際的プロジェクトで、海外で、なおかつ、基本的にはロータリークラブが存在する国で行うプロジェクトに対する補助金です。吉川RCではグローバル補助金を利用し、フィリピン・カビティ市のハッピー小学校において老朽化した校舎の改築、図書館とトイレの改修、椅子やテーブル・教壇の入替等を2015年から今年までに実施したとのことです。

地区補助金

地元や海外で今すぐ支援を必要とするニーズに取り組む、比較的小規模で短期間のプロジェクトに使用され、その使用は地区に裁量があります。

○寄付目標

年次寄付 200\$ ・ポリオプラス 50ドル

合計 250\$ が1人あたりの寄付目標です。御協力を宜しくお願い致します。

恒久基金目標は1クラブあたりベネファクター1人(1000\$)です。

奉仕プロジェクト部門セミナー

奉仕部門委員長 中村 正

7/8 (土) ソニックシティで開催されました。

■社会奉仕委員会

2017年7月23日 大宮清水園
全体会議後 特別講演 小川則雄氏
郡山東RCバスト会長
福島200万人笑顔応援プロジェクト代表
活動報告
西川康雄 税理士法人 西川会計
元東京あすかRCバスト会長
私の海外奉仕 タイ・ラオスでの活動報告

☆ブライダル委員会

各クラブに委員会の設置のお願い又は、担当者をおいて欲しい。

登録カードを利用し新規登録者を探して欲しい。
申込み方法 ロータリアン1名以上の紹介 登録期間
2年、経過後改めて新規登録 通算4年で退会。登録
カードに記入し、顔写真1枚 スナップ写真3枚
年4回の友愛の広場等に必ず出席

☆地域社会奉仕委員会

RI会長メッセージにより一人1本の植樹を強調されて
おり、今後も継続的に取り組みをしてほしいとのこ
と。自然環境への取り組み
当クラブ委員会でもこの事業検討中
腎・アイバンク献眼登録のお願いがありました。(献眼)
地区内登録1000人以上目標
通常、生涯一度の登録。親族優先制度が新設 (賛助会
員) 法人 10,000円 個人 1000円以上→いずれも一
口以上
ペットボトルキャップ回収における遺物混入について
アルミキャップ、食品・洗剤のキャップ、電池等は回収
できません。

セミナー報告時、ブライダル登録カードの見本、腎アイ
バンク献眼・賛助会員登録資料を
クラブ会員に配布しました。

■青少年奉仕部門報告

2017年8月6日 市民会館おおみや 小ホール
この部門は、過去新世代奉仕、新世代のためのプログラ
ムと言われていた。
若い世代の幅広い人を対象にロータリーと関わり、奉仕
活動を通じ自己研鑽と指導者育成、国際理解と親善を
図りこれからの立派な企業人と将来のロータリアンを作
るという目的と役割を果たしていくものである。セミナー
では、毎年同じように各委員会の経験発表になっています。

☆青少年育成・インターアクト委員会

就労体験 岩槻北陵高校女子 2名
いずれも、本人の希望により保育園で園児、先生方と触
れ合いながら園生活のお手伝いをして貴重な体験をさ
れたことを発表されました。この事業は過去、県の教育
の一環として取り入れられたものです。この体験を行っ
たことにより一部の高校で退学率が減少しました。
インターアクト (12歳~18歳)
韓国派遣により体験した大宮開成高校女子2名の体験
発表。
言葉が通じない時もあったが身振り手振りで家族や現
地の学生と接し、ホームステイを通じて文化・歴史に触
れることができ、貴重な体験をされたとのことでした。
又、ホームステイをしたロータリアンの受入体験も併せ
て体験発表がありました。



ローターアクト

現在11クラブ(18歳~30歳)ありロータリーの森
で行った活動内容等の発表がなされた。ローターアクト
の3つの要素、奉仕、親睦、リーダーシップの向上を更
に図って行きたいとのことでした。

ライラ委員会 (14歳~35歳)

研修で、日常で体験出来ない事や知りえなかった事実の
一部を知ることが出来た。知覧での研修、平和の尊さを
強く学んだこと等深く傷ついた戦争のことなどしっか
り発表されてました。

本年度の研修地 埼玉県秩父・長瀬
ジオパーク 秩父

2018年4月7日(土)~9日(月) 3日間

人員 100名 研修生 35,000円

ロータリアン 45,000円

青少年交換委員会

恒例により、派遣学生2名 受入学生1名 学友代表1
名(派遣・受入のサポート役) の体験発表があり、ホ
ームステイ先での文化の違いの中で感じた体験を話さ
れ、この交換事業でのロータリーへ感謝されていまし
た。

《参考》 当クラブ 派遣・受入14名お世話して来ま
した。

☆2018~2019 対象 18名程度(地区)

休憩の後、県警察本部生活安全部少年課により。昨今の
様々少年非行についてと防止対策について講演がありま
した。

半日のセミナーでしたが代役で参加してきましたが実の
あるお話を聞くことが出来ました。

誘っていただいた小林会長ありがとうございました。

管理運営部門セミナー

クラブ管理運営部門委員長 鈴木 隆

☆管理運営部門 吉田英一 部門委員長
(鳩ヶ谷RC)



1. クラブ研修リーダー任命について

・クラブ研修リーダー選任のお願い。
6月17日クラブ研修リーダーセミナー開催。
登録要請

2. クラブ細則の変更について

・2016年規定審議会で、クラブ運営に大幅な柔軟性。
・特に「例会と出席に関する規定の例外」(標準ロータ
リークラブ定款第7条)
「会員身分に関する規定の例外」(標準ロータリー
クラブ定款第9条)
この二つの条文の追加が最大の変更点。
・クラブ細則の変更は、それぞれのクラブに合わせて、
大胆に。慎重に。

3. ロータリーの例会とは。

・ロータリーの正式な会合。出席は義務であると共に特
権である。
「入て学び 出でて奉仕せよ」
「ロータリーの例会は人生の道場」(米山梅吉)
例会は、義務として出席したタイムロスを心配するよ
り、特権として出席してメリットを享受しましょう。
楽しく充実したクラブ例会を!

☆クラブ活性化委員会 熊木広光委員長 (大宮中央RC)

1. 効果的なロータリークラブとは

・会員基盤の維持、拡大する。
・地元地域社会並びに他の国々の地域社会において奉仕
プロジェクトを実施、成果をもたらす。

- ・資金面及びプログラムへの参加を通じてロータリー財団を支援する。
 - ・クラブレベルを超えてロータリーにおいて奉仕できるリーダーを育成する。
- RI 会長賞挑戦
 - ・必修活動の他、クラブのサポートと強化。人道的奉仕の重点化と増加。ロータリー公共イメージと認知度の向上。それぞれ少なくとも4項目の達成が必要。
 - RI 戦略計画について
 - ・将来何を目指し、そこに到達するにはどうしたら良いかを定めることは、毎年リーダーが交代するロータリーでは特に重要。リーダーが就任するごとに方向性が変わることを防ぎ、ロータリーが重要目標の達成に向け、確固とした方向性をもって進むためのもの。
 - My ROTARY について
 - ・クラブ・役員・会員データの更新、レポートの作成、会費の支払い、寄付状況の閲覧、書式のダウンロード、クラブの設立など、クラブと地区の運営をオンラインで行うことができる。
 - ロータリークラブ・セントラルとは？
 - ・ロータリークラブ・セントラルは、クラブが目標を立て、達成状況を確認するためのオンラインツールです。ロータリークラブ・セントラルは、RI 会長賞の必須項目達成の報告の際に必要となります。
 - 卓話者バンクについて
 - ・第2770地区独自の卓話者バンク制度。現在、20数名の登録者がいる。
 - ・ロータリアンの場合、講演料無料、交通費程度の謝礼のみ。

管理運営部門セミナー報告
 ☆RLI 運営委員会 新井清太委員長 (大宮西 RC)
 1. RLI 参加者推薦について
 ・ロータリー・リーダーシップ研究会 (Rotary Leadership Institute)
 ロータリークラブの指導者開発を目的としたプログラム。
 ・大貫年度の RLI の日程 会場：市民会館おみや
 パート I/8月30日(水) パート II/9月15日(金)
 パート III/10月27日(金)
 ・岩淵年度 2009年6月(パート I) スタート
 ・大貫年度で10年目。今年度までの参加者約700名超。

☆学友管理委員会 伊藤公仁委員長
 1. 学友情報のデータベース化
 2. 学友の集いの開催
 3. 学友情報の提供

スマイルBOXより

メンバー(50音順)
 遠藤隆雄 菊地 廣 小林利郎 小林佑次 塩田淳司
 鈴木 隆 鈴木真樹 関根信行 高橋真理以 田畑寛樹
 津多一幸 出山知宏 中村 正 原田晃博 増岡昌行
 三浦宣之
 ☆ たくさんのご芳志ありがとうございました ☆

スマイル報告	
本日のスマイル合計	19,000 円
年間累計額	273,000 円

出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
23	16		3	82.61%

